



## 牛歩のごとく

校長 大石 京子

新年を迎えました。明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって、浅草小学校にとって最良の年となりますように、心よりお祈り申し上げます。

さて、コロナウイルス感染症の長いトンネルはそろそろ抜ける兆しが見えてくるかと思っておりましたが、緊急事態宣言が発出される事態になり、トンネルはいつ抜けることができるのか、見通しの立たない状況になってしまいました。

昨年4月からの約9か月間の感染対策で学んだことは、危機的状況が起きる前にいかに防ぐ手を打つことができるかが重要だということです。実際にはなかなか見通しが立たず、打てないことが多いですが、常に危機予測を立てながら対応していきたいと思えます。また、改めて思ったのは、学校がその役割を果たすためには、まず学校が安全な場所であってはならないということです。昨年は3月から5月まで3ヶ月に及ぶ休校期間がありました。子供たちは学校に来て勉強ができないだけでなく、居場所が奪われてしまいました。日中の居場所を確保することに各ご家庭では苦勞なされたことと思えます。居場所がない、友達に会えない、先生に会えない。子供たちが安心して通ってこられる場として学校が安全であることは、これからも最優先させていかなくてはなりません。

さて、今年は丑年です。高村光太郎の「牛」の詩をお届けします。牛のように先を急がずのろのろと、けれど、がちりがちりとつつこみ喰い込んで歩く年にしていきたいです。本年も、どうぞよろしくお祈りします。

牛  
高村光太郎

牛はのろのろと歩く  
 牛は野でも山でも道でも川でも  
 自分の行きたいところへは  
 まっすぐに行く  
 牛はただでは飛はない、ただでは踊らない  
 がちり、がちりと  
 牛は砂を掘り土を掘り石をはねとぼし  
 やつぱり牛はのろのろと歩く  
 牛は急ぐことをしない  
 牛は力一ぱいに地面を頼って行く  
 自分を載せている自然の力を信じきって行く  
 ひと足、ひと足、牛は自分の道を味わって行く  
 ふみ出す足は必然だ  
 うわの空の事でない  
 是でも非でも  
 出さないではいられない足を出す  
 牛だ  
 出したが最後  
 牛は後へはかえらない  
 足が地面にめり込んでかえらない  
 そしてやつぱり牛はのろのろと歩く  
 牛はがむしゃらではない  
 けれどかなりがむしゃらだ  
 邪魔なもの二本の角にひっかけ  
 牛は非道をしない  
 牛はただ為たい事をする  
 自然に為たい事をする  
 牛は判断をしない  
 けれど牛は正直だ  
 牛は為たくなつて為た事に後悔をしない  
 牛の為た事は牛の自身を強くする  
 それでもやつぱり牛はのろのろと歩く  
 どこまでも歩く  
 自然を信じ切つて  
 自然に身を任せて  
 がちり、がちりと自然つつこみ喰い込んで  
 遅れても、先になつても  
 自分の道を自分で行く

雲にもものらない  
 雨をも呼ばない  
 水の上をも泳がない  
 堅い大地に蹄をつけて  
 牛は平凡な大地に行く  
 やくきな架空の地面にだまされたい  
 ひとをうらやましいとも思わない  
 牛は自分の孤独をちゃんと知っている  
 牛は食べたものを又食べながら  
 じつと淋しさをふんごたえ  
 さらに深く、さらに大きな孤独の中に入っていく  
 牛はもうとないで  
 その時自然によびかける  
 自然はやつぱりもうとこたえる  
 牛はそれにあやされる  
 そしてやつぱり牛はのろのろと歩く  
 牛は馬鹿に大まかで、かなり不器用だ  
 思い立つてもやるまでが大変だ  
 やりはじめてもきびきびとは行かない  
 けれども牛は馬鹿に敏感だ  
 三里さきのけだもの声をききわける  
 最善最善を直覚する  
 未来を明らかに予感する  
 見よ  
 牛の眼は叡知にかがやく  
 その眼は自然の形と魂とを一緒に見ぬく  
 形のおもちゃを喜ばない  
 魂の影に魅せられない  
 うるおいのあるやさしい牛の眼  
 まつ毛の長い黒眼がらの牛の眼  
 永遠を日常によび生かす牛の眼  
 牛の眼は聖者の眼だ  
 牛は自然をその通りにじつと見る  
 見つめる  
 きよろきよろときよろつかない  
 眼に角も立てない  
 牛が自然を見る事は自然が牛を見る事だ  
 外を見ると一緒に内が見え  
 内を見ると一緒に外が見える  
 これは牛にとつての努力じゃない  
 牛にとつての当然だ（詩はまだ続く）

# 1月の予定

時程	日	曜	行事等
	1	金	元日
	2	土	
	3	日	
	4	月	
	5	火	
	6	水	
	7	木	冬季休業日終
B	8	金	始業式 給食始 身体測定 席書会(4.6年)
	9	土	
	10	日	
A	11	月	成人の日
	12	火	席書会(1.2.3.5年) 委員会活動
	13	水	避難訓練
	14	木	【5時間】
	15	金	書き初め展(公開なし)
	16	土	土曜授業 書き初め展(公開なし)
	17	日	
B	18	月	【5時間】ユニセフ集会
	19	火	
	20	水	ユニセフ募金始 元気アップル始
	21	木	
	22	金	ユニセフ募金終
	23	土	
	24	日	
A	25	月	クラブ活動(クラブ見学 3年)
	26	火	元気アップル終
	27	水	
	28	木	
	29	金	
	30	土	
	31	日	

★1月の引き落とし日★  
 学納金の引き落とし日は5日・18日  
 です。残高の確認をお願いいたします。

## 「なかよし&元気いっぱい2年生！」

4月、クラス替えもなく担任も一緒に同じメンバーで進級した2年生。6月、長い休校から不安の中スタートしましたが、同じメンバーであったからこそ、再開の喜びもひとしおでした。

今年の4月の入学式、初めて後輩となる新入生を迎え、歓迎のパフォーマンスをすることで、先輩2年生としての生活をスタートする・・・はずでした。残念ながらそれが叶わず。今年はどうやって「先輩2年生」としての生活をしていくか、課題となりました。

### ★朝顔の種、プレゼント！

1年生を迎える会で例年プレゼントをしている朝顔の種。2年生が1年生の時に育てた朝顔から採れたものです。一人一人渡す機会はなかったので、お手紙を書いてプレゼントしました。「こんどいっしょにあそぼうね。」2年生の優しい気持ちがたくさん詰まったプレゼントとなりました。

### ★浅草っ子スポーツデー&学習発表会

学校行事が全体ではできなくなったかわりに、学年ごとに挑戦した2つの行事。例年、当たり前のように高学年に準備をしてもらっていましたが、学年ごとになると、すべての準備・計画を2年生全員で分担しなければなりません。でも、そこはやる気満々の2年生。用具の準備や発表会の会場作りなど、一生懸命覚えて取り組みました。スポーツデーの発表は、大好きなダンスと障害物リレー。マスクをしながらも元気いっぱい、笑顔で取り組むことができました。学習発表会では、初挑戦の群読「おまつり」。覚えることも大変でしたが、練習を重ねるうちに、みんなで声を合わせる気持ちよさが楽しくなりました。本番前日、最後の練習として屋上で思いっきり叫んだ群読は、忘れられない思い出になりました。そして、合奏は入学式に1年生のために演奏するはずだった「よろこびのうた」。ハンドベルやトーンチャイムなど、初めて演奏する楽器も加えて、レベルアップした演奏を発表することができました。そして行事ごとに、いつも1年生に見てもらえる機会を設けました。保護者の方の前で発表するのはまた違った緊張感。でも、先輩としての意地もあったように見えました。誇らしい顔で発表する姿に、大きな成長を感じました。

### ★生活科おもちゃ作り

毎年3学期に、生活科の学習で2年生は手作りおもちゃを作り、1年生に遊んでもらう、という学習を行います。今年は2学期のうちに、どのようなおもちゃを、どのように遊んでもらったら楽しんでもらえるかを考え、学年で取り組んできました。3学期は1年生を喜ばせられる「おもちゃ大会」ができるといいなと思っています。

学校で2番目に人数の少ない2年生ですが、他の学年に負けないくらい、元気いっぱいに生活しています。あと3か月であっという間に中学年の3年生です。ますます素敵なお先輩になっていくよう、学年一つになって過ごしていこうと思います。

### ★スクールバンドの活動がケーブルテレビにて放映されます★

放送:台東区制作番組(J:COM/11チャンネル)ケーブルテレビ

番組名:ニュースたいとう 台東かわらばん 内6分

放送日時:令和3年1月17日(日)~1月23日(土)

① 9:00~ ②13:00~ ③17:00~ ④21:00~

昨年12月に撮影したものです。ご視聴いただける方はぜひご覧ください。

### 【浅草小学校が紹介されます】

12月に、浅草小学校がNHKの取材を受けました。浅草の町が一体となって感染症対策に取り組んでいることが紹介される予定です。

放映予定 1月15日(金) 21時~21時59分

NHK BSプレミアム 新日本風土記

### 【お知らせ】

本校薬剤師の富澤春男先生が「令和2年度 東京都教育委員会 健康づくり功労」で表彰されました。おめでとうございます。富澤先生は平成16年から16年間本校の学校薬剤師をされています。